

とちぎの結婚式

～多額な経費～

結婚式場業を営む事業所からみた、栃木県民の結婚式の平均像をみてみましょう。

まず、挙式スタイルでは、キリスト教式が挙式全体の74.3%を占めており、その割合の高さは全国3位となっています。(図1)

次に、結婚式にかけた費用をみてみると、「挙式・披露宴1件当たりの売上高」は、322万円で、全国平均の254万円を大きく上回り、全国6位となっています。費用規模別にみても、1件当たり「300万円以上」かける割合が高く、全国2位となっています。これは、披露宴参加人数が「100人以上」の大規模な披露宴の割合が、全国平均を上回っているためと思われます。(図2)

また、挙式・披露宴の内容をみてみると、結婚する本人達にかかる費用である「衣装料」「美容、着付」「写真」などの売上高の割合はあまり高くなく、一方で、招待客にかかる費用である「引き出物」に占める割合が高く、全国8位となっています。(図3)

最近の傾向としては、親しい人だけを招く少人数でのウェディングが好まれているようですが、本県では、親類をはじめ、職場の上司や同僚など多様な人々を招き、結婚披露宴をしていることが想像され、人と人とのつながりを大切にしているようです。

指標名		指標値	順位	全国
1	キリスト教式での挙式の割合	74.3%	3位	63.8%
2	挙式・披露宴1件当たりの売上高	322万円	6位	254万円
3	挙式・披露宴1件当たり「300万円以上」かける件数の割合	57.1%	2位	31.6%
4	披露宴参加人数が「100人以上」規模の件数の割合	41.7%	16位	21.9%
5	年間売上高のうち「引き出物」に占める割合	12.8%	8位	10.0%

※1～5 平成17年特定サービス産業実態調査(経済産業省)

※これらの指標は、栃木県内の結婚式場において挙式、披露宴を行った件数であり、県内の総婚姻者件数ではない。

用語の解説

- **特定サービス産業実態調査** = 統計法に基づく国の指定統計調査として、経済産業省が昭和48年以降毎年実施しているもので、サービス業のうち特定の業種を調査しています。主な業種は、物品賃貸業、情報サービス業、結婚式場業、葬儀業、映画館、ゴルフ場、広告業などです。

図1 挙式スタイル別の挙式件数の割合

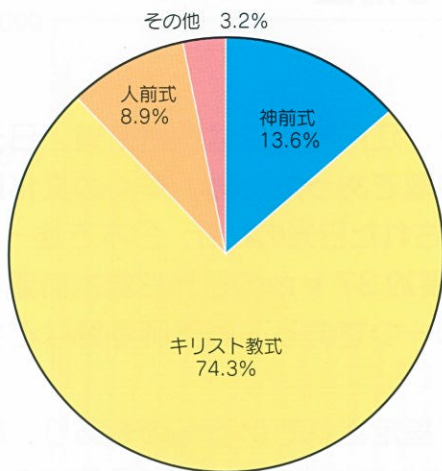


図2 披露宴参加人数規模別件数の割合

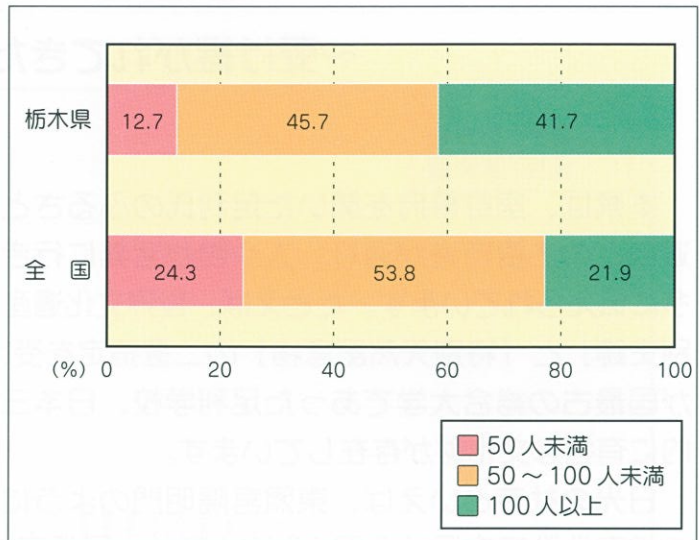
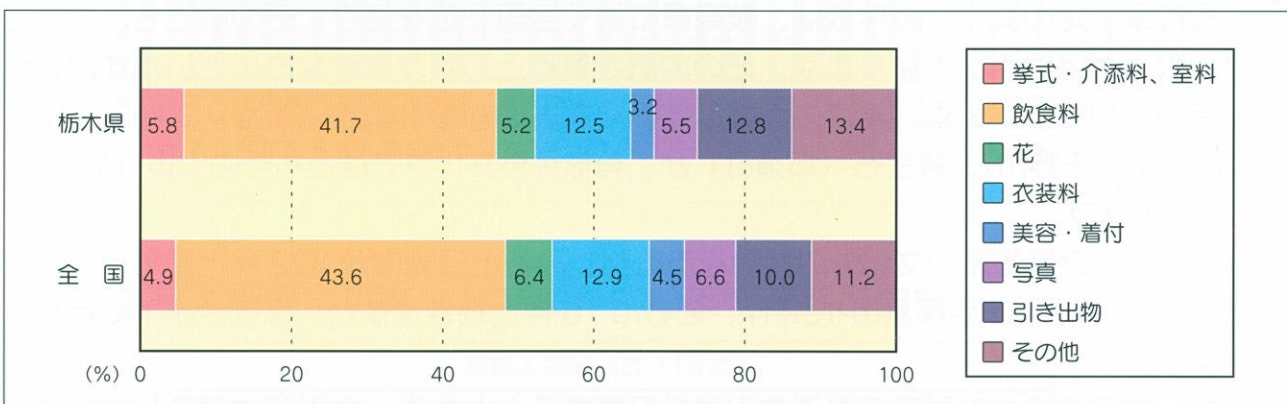


図3 結婚式場業務の年間売上高の構成比



※平成17年特定サービス産業実態調査（経済産業省）

トピックス

ーお葬式にもお金をかけていますー

葬儀業を営む事業所からみた「葬儀1件当たりの売上高」は165万円で、全国3位です。その売上高のうち、精進落とし、生花（花輪）等に係る費用を含む「飲食・物品販売収入」の項目が占める割合が高く、全国2位です。お葬式においても栃木の県民性が感じ取れます。

葬儀1件当たりの売上高 ベスト3

順位	都道府県名	葬儀1件当たりの売上高
1	富山県	174万円
2	山梨県	172万円
3	栃木県	165万円
全国平均		125万円

※平成17年特定サービス産業実態調査（経済産業省）